

令和5年度
学校自己評価報告書

基準日:令和6年3月1日

学校法人山脇服飾美術学院
山脇美術専門学校

教育理念及び教育目標

本校の建学の理念は「美と創造の精神」を基本として、豊かな情緒と個性的な想像力を備えた人間形成にあります。

その建学の基本理念に基づく精神は「真・善・美」という言葉で表されております。

「真」とは、真実のものを見極める心を養うこと。

「善」とは、良いものに対して敏感になること。

「美」とは、鋭い美意識の習得を図ること。

この建学の理念に基づいた教育目標は、デザイン教育を通して、専門知識・専門技術の修得を目指し、感性豊かな即戦力を育み、社会に貢献できる人材を輩出します。

本年度の教育目標

デザインの専門学校として、ビジュアルデザイン科、スペースデザイン科、ジュエリーデザイン科の三学科を有し、専門教育と共に、感性と技術に優れた人間教育を実践しております。

学生募集および教育指導においては、教職員はもとより講師ならびに卒業生をはじめとする関係各位にも協力を得て、各種方策を講じております。

(具体的な目標)

- 学科ごとの基礎力から社会に求められる実践力を養うカリキュラムを設定する。
- 将来の就職に結びつく活きた授業を行う。
- 個々を尊重した学校生活を送る。
- 学生が学びやすく、安心できる学習環境の整備を図る。
- 地域との関係性を大切にした交流活動を図る。
- 人間力と教育力を身につける。
- 社会人としてのマナーや教養を身につける。

◆ 本校の行動指針

「報告・連絡・相談」によるコミュニケーションを密に取りながら、教職員が一枚岩となり、より一層の質的向上と学校運営の充実を目指しております。

◆ 実施体制

学校評価委員：学校長、事務長、教務課長、学務課長補佐、総務課長補佐の評価により実施する。

卒業生、在校生、保護者より評価アンケートを実施する。

所属長が各部署の意見を集約する。

(1)教育理念・目的・育成人材像

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、 やや不適切...2、不適切...1
学校の理念を明確化して周知しているか	4
教育目的・育成人材像は理念に沿っているか	4
理念実現への具体的な目標・計画はあるか	4

(現状)

- 教育理念及び教育目標は、これからも変わることはありません。建学の精神を基に専門教育に対する教育理念は確立されていますが、社会のニーズに応えるべき充実した実践教育の実施を推し進めています。
- 人間力も技術力も備わった学生を輩出し、社会人になっても、積極的にその時代にマッチした活躍ができる教育システムを構築しています。
- 募集すること(入学)だけに力は注がず、目的意識を持った学生自身がさらに興味を抱いて、将来をしっかりと見据えて、学ぶようなシステムを構築しています。
- 卒業後、それぞれの道に進む学生一人ひとりに対して、今まで以上の人間力・教育力が身につけられるよう指導しています。そして、3年間で培った知識・技術が、社会に出てもその現場で即戦力として役に立つよう指導を行っています。
- 教育理念・教育目標については、学校案内、ホームページ、体験入学・学校説明会等において随時、掲載・説明して周知しています。

(今後の方針)

- 学生に対する日常生活の指導を今後もきめ細やかに行っていくことで、教職員一人ひとりの資質を高めていきます。その一つ的手段として、教職員の指導力向上のために、積極的に必要な研修会等へ参加していきます。
- 創立94年の歴史と伝統を重んじて、専門教育と人間形成教育を大切にしている学校であることを、今後とも広く明確に発信していきます。
- 今後も高校訪問をする際には、担当の先生にもしっかりと本学の教育理念と教育目標を伝え、ご理解を示していただけるようにしていきます。また、学生・保護者に対する体験入学・学校説明会等においても、教育理念・教育目標を説明する際には、参加者一人ひとりに対して懇切丁寧に解りやすく説明していきます。

(2)学校運営

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、 やや不適切...2、不適切...1
理念、教育目標をふまえた運営方針を定めているか	4
運営方針を明確に周知しているか	4
運営方針の浸透度を確認しているか	4

(現状)

- 各部署が学校の理念、目的等を十分に踏まえ、毎年度策定する業務計画が執行できるように取り組んでいます。それを執行するために、学期毎に行われる職員会議の場でも周知して、部署毎で精査しながら実現に向けて慎重に取り組むよう徹底しています。
- それぞれの部署において基本的なルール化がされており、予算編成及び予算執行については別途、決裁権限(稟議等)に従って、明確に運用しています。以上により、適正に業務が執行されており、今後も現状を継続して参ります。
- 「収入 \geq 支出」である原則を全教職員が理解した中で、十分に考慮して、出来る限りの教育の質の向上を目指して、経費を投じています。
- 教職員には、年度当初に前年度の決算書について説明・報告をして、さらなる協力を仰いでいます。今後も現状を継続していきます。
- 本法人は、学校部門と事業部門の両立で運営されています。特に学校部門の運営は、事業部門からの一部寄付により授業料等が補填されているため、保護者の負担が軽減された納付金で、3年間を安心して、充実した教育を受講できるシステムになっています。今後も現状を継続して参ります。

(今後の方針)

- 学生、保護者、卒業生さらに教職員等からのアンケートを十分に参考にして、社会のニーズに合致した本校独自の学校運営を進めています。
- 本校と関わりのある高等学校や就職先企業からも具体的な評価を聴取して、反映させていきたいと考えています。
- 将来を見据えた教育課程(カリキュラム)を策定し、現行の教育内容をさらに拡充していきます。さらに、学内外のメンバーにより、将来を見越した教育改革全般を構築したいと考えています。
- 本校に通う学生のことを第一に考え、何をどうすれば個々の学生にとって良い結果が導き出されるのかを、学校全体で考え直す時期であると思います。
- 学生ひとり一人が、毎日興味を抱いて楽しく通学できる雰囲気作りを構築していきます。

(3)事業計画

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、 やや不適切...2、不適切...1
中期計画を定めているか	4
単年度の事業計画・事業目標を定めているか	4
事業計画の執行状況を管理し、適切に見直しているか	4

(現状)

○ 本校は、今年度創立 94 年を迎え、6 年後には 100 周年を迎えます。現存の施設を一掃して、未来にも十分対応できる施設構築を目指しているところです。その事業を遂行する上で、学内関係者は勿論のこと、外部の方にも協力を仰ぎ、現在、検討委員会で計画を進めています。

○ 教育課程編成委員会を設置し、社会のニーズにも十分対応できるカリキュラムを構築して、就職率 100%を目指しています。

それを実現するために学内関係者だけではなく、広くその分野に活躍されている外部の方にも協力を仰いでいます。各科就職率も高くなり、卒業生全員の就職を目指しています。

○ 学生一人ひとりの将来を育むために教育課程・シラバスも改善して、社会のニーズに適応した人材を輩出しています。

○ 日本全国で開催される各種コンペへの取り組み(出品)に力を注いでいます。その実績も各科とも増えてきました。

○ 健康面や精神面、生活環境で問題を抱える学生が増えていくことを想定して、出席率の低下を原因とする退学をなくすために、教職員は勿論のこと、保護者にも協力を仰ぎさらに、公認心理師・臨床心理士のカウンセラーを配置して学生のサポート(カウンセリング)を実施しています。

○ 学生募集については、各部署が協力して募集定員を確保することに尽力しています。

学生募集では①情報誌の状況を分析して精査しています。②学校選びの早期化が進む中、高校 2 年生向けの媒体を強化しています。③積極的にガイダンス、出張授業に参加しています④通学可能地域を重点に強化しています。⑤高校生にも分かり易い学校説明を心掛け、入学意欲がさらにアップするよう努力精進しています。

(今後の方針)

○ 各部署において、将来を見すえた事業目標を掲げ、その目標が実現できる計画を進めています。

○ 今後とも就職率 100%・退学者ゼロを目指し、目的意識を持った学生の満足度をさらに向上させていきます。

(4)運営組織

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、 やや不適切...2、不適切...1
理事会・評議員会は適切に開催し、審議内容を記録しているか	4
学校運営に必要な教学・事務組織を体系化した規程に基づき整備しているか	4
組織規程を整備しているか	3
職員の意欲および資質向上に取り組んでいるか	3

(現状)

○ 寄附行為に則り、理事会・評議員会は毎年度定期的に開催していますが、突発的な議案がある場合には、その都度、理事会招集を図り、臨時的に開催しています。事業計画(報告)、予算案、決算案、規程規則の改正、その他の審議及び学生募集、学生在籍数(退学者数)、就職状況などの報告を行なっています。また、監事による監査報告も行っており、併せて議事録も作成し保管しています。

○ 法人全体の組織図を作成して、各部署に責任者を置き業務を遂行しています。さらに、その業務が順調に推移しているかを、学校三役(理事長、学校長、事務長)が管理をしています。そこで大小関わらず気がついた点について、定例会議の場で周知徹底を図り、さらに学校の行動指針(報告・連絡・相談)に則り、それぞれが共通理解を持って資質向上に取り組んでいます。

(今後の方針)

○ 本項目については、適正に行われていると判断し、今後も現状どおり継続しますが、さらに教育職員、事務職員の資質向上を図るため、これまで以上に積極的に研修会、セミナー等に参加して、学生指導面、学校運営のさらなる向上を図っています。

○ 全教職員の周知を図る上で、研修会等に参加した者より報告書を提出してもらい、さらに研修内容を共有し理解を得られるよう会議の場で報告してもらいます。

○ さらなる行動指針の徹底に努めて参ります。

(5) 人事・給与制度

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、 やや不適切...2、不適切...1
教職員の採用基準を明確化しているか	4
給与、昇任、昇給の基準を明確化しているか	4

① 課題

- 教職員を採用する際には、学内規程及び契約内容を提示して、面接時にしっかりと本人に説明をして、双方が了承を得た上で採用しています。
- 昇給、昇格等については、各教職員の業務目標の達成状況や日常の業務を観察した上で、客観的に評価しています。
- 給与規程等については、全て所轄庁に提出しており、教職員にも閲覧できるよう整えています。

(今後の方針)

- 事務職員の年齢構成を鑑み、適宜、計画的に採用していきます。
- 教職員の採用、給与面等については、収支バランス並びに将来の教職員動向を十分に考慮して取り組んでいきます。
- 本項目については、適正に行われていると判断し、今後も現状どおり継続していきます。

(6) 意思決定システム

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、 やや不適切...2、不適切...1
学校運営に必要な諸事案について意思決定の権限を明確にしているか	4

(現状)

- 理事長、学校長、事務長のラインで、諸問題を解決しています。
主務は、教育的な諸事案は学校長、事務的な諸事案は事務長が中心となって執り行い、最終的な判断は、理事長に委ねて執行されています。但し、諸事案の内容によっては、理事会で審議していただき決定しています。また、各部署からの案件については、重要度の高低に関わらず、稟議により学校三役(理事長・学校長・事務長)の決裁を得て進めています。
- 大小関わらず、どんなに些細な問題案件があっても、まずはスピーディーに取りかかることを心掛けています。
- 行動指針(報告・連絡・相談)の周知徹底を図っています。

(今後の方針)

- 本項目については、適正に行われていると判断し、今後も現状どおり継続していきます。

(7)情報システム

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、 やや不適切...2、不適切...1
入学から卒業にいたる学生情報システムを構築しているか	4
学生情報システムのデータ更新を適切に運用しているか	4
学生情報システムを指導等に活用しているか	4
システムメンテナンス・セキュリティ管理を適切に行っているか	4

(現状)

- 学生情報システムは構築されており随時更新され、適切に運用されています。
- 学生指導にも活用されており、適切に管理されています。
- ランサムウェア対策ならびに BPC 対策として、クラウド上での管理システムを運用しております。

(今後の方針)

- 本項目については、適正に行われていると判断し、今後も現状どおり継続していきます。

(8)教育活動－目標の設定

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、 やや不適切...2、不適切...1
教育課程の編成や職業教育に関する方針を明確に定めているか	4
学科毎に目標とする教育到達レベルを明示しているか	4
資格・免許を目指す学科において取得指導・支援体制を整備しているか	4

(現状)

- 本項目については、適正に行われていると判断し、今後も現状どおり継続していきます。教育到達レベルは各科目毎にシラバスに明示しています。

(今後の方針)

- より実務的な資格が取得できるよう検討していきます。

(9)教育方法・評価等

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、 やや不適切...2、不適切...1
教育課程を編成する体制を明確化し、編成の過程を記録しているか	4
教育課程の編成に在学生、卒業生、関連業界などの意見を反映しているか	4
専門科目・一般科目および必修科目・選択科目の配分は適切か	4
授業の目標に対して、講義・演習・実習等、適切な授業形態を選択しているか	4
授業科目の計画(シラバス)を作成しているか	4
職業実践教育の視点で教育内容・方法・教材を工夫し適切な指導を行っているか	4
キャリア教育を工夫して行っているか	4
学生による授業評価を行い、授業改善等に活用しているか	4

(現状)

- 授業科目の設定・講義内容について学内で検討した後、各授業の担当講師へ授業計画の作成を依頼しています。様式については、授業科目名/担当講師/必修・選択/授業形態/時間数/授業内容/到達目標/授業計画/履修上の注意/評価方法/教科書・教材/授業時間以外の学習を項目とした統一様式で作成しており、科長、教務課長、学校長の承認のもと実施しております。
- 教育課程編成委員会を設けて、問題点や改善点を検討し、編成やシラバスに反映させております。
- 教育課程や学生情報共有のために講師会議を設け、教育活動の質の向上に努めています。
- 学生による授業評価を年に2回行い、授業改善等に活用しております。

(今後の方針)

- 学内での検討をさらに増幅させることと、教育課程編成委員会にて関連業界の実態を反映強化して参ります。

(10)成績評価・単位認定等

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、 やや不適切...2、不適切...1
成績評価基準を明確化しているか	4
成績評価の客観性・統一性を確保しているか	4
在学生の学外での受賞を把握しているか	4

(現状)

- 各科目の授業計画(シラバス)内の評価方法欄にて、課題評価、レポート、授業態度、出席等評価方法について詳細に提示しています。提示した方法により科目担当教員が中心となり適正に評価しております。
- 各授業の評価は100点満点を基準として60点以上を合格としています。成績評価はS(100～90点)、A(89～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)として本人及び保護者に成績を通知しています。それぞれの成績評価を点数化し全科目の合計点の平均点を100点満点で点数化し算出することで学科における学年内成績分布状況を把握しております。
- これらの成績評価は独自奨学金や学業優秀者の表彰候補者の選出に活用しております。

(今後の方針)

- 本項目については、適正に行われていると判断し、今後も現状どおり継続して参ります。

(11)資格・免許取得の指導体制

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、 やや不適切...2、不適切...1
目標資格の内容・取得意義を明確化しているか	4
目標資格取得についての指導体制を不合格者や卒業後の指導を含めて整備しているか	4

(現状)

- 各学科にて関係する取得目標資格を定め、授業等にて取得対策講座を設け、取得に向けたサポートを行っています。

(今後の方針)

- 本項目については、適正に行われていると判断し、今後も現状どおり継続していきませんが、時代の要請に合わせた資格取得を今後も検討し実施して参ります。

(12)教員・教員組織

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、 やや不適切...2、不適切...1
教員に求める資質・能力・知識・技能レベル等を明確にして確認しているか	3
教員採用において関連業界と連携しているか	3
教員の専門性、教授力、研究活動・自己啓発について把握しているか	4
分野ごとに教員組織体制を整備し、教員間の連携・協力体制を構築しているか	4

(現状)

- 教員ならびに各学科の講師採用にあたっては、人事担当者による書類選考、面接等を行い、知識・技術・技能レベルや人間性を総合的に判断して、その上で理事長に報告をし、合否の決裁を仰いでおります。
- 実務経験が豊富で活躍されている方を講師として採用し、型にはまった技量だけではなく実践的な技量等も身につけられる教育を行っております。
また、普段の生活指導、就職指導等においても、積極的にご指導頂ける講師を採用しております。
- 講師同士の横の繋がりを綿密に図り、相互の情報を開示して共通理解を深めております。(報告・連絡・相談)
- 科長と助手が中心となり、各講師からの情報を聴取して、講師の連携と協力要請を随時執り行っております。
- 講師会議を設け、学校関係者(学校三役、科長、担当部署等)と講師との協議の場を設けて、より良い教育システムを構築するための、情報の共有を行っております。

(今後の方針)

- 各科の授業内容に適した協会・団体等との情報の共有、交換により適材な教員採用の確保を構築して参ります。
- 各方面より候補者を推薦してもらい、その中から本校の講師として相応しい方を採用して参りたいと思います。

(13) 学習成果－就職率

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、 やや不適切...2、不適切...1
就職率の目標を設定し、向上が図られているか	4
学生の就職活動状況を把握しているか	4
就職について関連業界と連携しているか	4

(現状)

- 「学んだことを生かした就職内定 100%」を学校目標に掲げ、教職員で取り組んでおります。

学校三役、教職員、講師との合同会議を開き、全員共通認識の元、連携を取り、活動状況の把握を行っております。

- 学生より、就職活動の届け出を必ず提出してもらい、状況を把握及び共有しています。

(今後の方針)

- 本項目については、適正に行われていると判断し、今後も現状どおり継続して参ります。
- 職業実践専門課程における関連企業との連携を、さらに構築、強化して参ります。

(14) 資格・免許の取得率

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、 やや不適切...2、不適切...1
資格取得の目標を設定しているか	4
資格取得のための学習支援に取り組んでいるか	4
合格実績、合格率を全国水準と比較し、指導方法の改善を行っているか	4

(現状)

- 資格取得率は年々向上しており、授業内において取得のためのサポートを行っております。

(今後の方針)

- 本項目については、適正に行われていると判断し、今後も現状どおり継続して参ります。

(15) 卒業生の社会的評価

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、 やや不適切...2、不適切...1
就職先企業を訪問するなどして卒業生の実態を把握しているか	4
卒業生のコンテスト等受賞や研究実績を把握しているか	4

(現状)

○ 本項目については、適正に行われていると判断し、今後も現状どおり継続して参ります。

(今後の方針)

○ SNSなどを活用し、さらに卒業生の実績を把握する体制を進めて参ります。

(16) 学生支援－就職等進路

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、 やや不適切...2、不適切...1
就職・進路支援のための組織体制はあるか	4
就職担当と担任教員が連携して就職指導にあたっているか	4
就職説明会、具体的な就職指導に関するセミナー・講座等を開催しているか	4
就職に関する個別相談に適切に応じているか	4

(現状)

○ 「学んだことを生かした就職内定 100%」を学校目標に掲げ、教職員で取り組んでおります。就職会議を開き、関係者共通認識の元、連携を取り、活動支援を行っております。

○ 3年間で69時間の就職講座を柱に、学内での企業説明会、卒業生を招いて懇談会を随時実施しております。

○ 就職担当者が学生からの様々な就職相談に対応しております。

(今後の方針)

○ 本項目については、適正に行われていると判断し、今後も現状どおり継続して参ります。

(17) 中途退学への対応

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、 やや不適切...2、不適切...1
中途退学の要因、傾向等を把握しているか	4
指導記録を保存しているか	4
中退率低減に向けた学内の連携体制はあるか	4
メンタル面の指導体制はあるか	4

(現状)

○ 「退学者ゼロ」を学校の目標として掲げ、全職員にて取り組んでおります。中途退学の要因を分析、個人に対する指導記録を保存しております。

○ 助手、科長、教務課長、学校長が連携を取り、個人面談、三者面談を行い学生指導に当たっております。またメンタル面の指導として学校カウンセラーが在籍しております。

(今後の方針)

○ 本項目については、適正に行われていると判断し、今後も現状どおり継続して参ります。

(18) 学生相談

評価項目	適切...4、 ほぼ適切...3、 やや不適切...2、 不適切...1
相談室の設置など環境整備を行い、学生に適切に周知をしているか	3
専任カウンセラーの配置等を行っているか	4
医療機関との連携はあるか	4

(現状)

○ 定期的に学校カウンセラーとの面談機会を設けております。相談によっては学校カウンセラーより専門医の紹介も行っています。

○ 地域の診療所と学校医の契約を交わし、連携をとっています。

(今後の方針)

○ 本項目については、適正に行われていると判断し、今後も現状どおり継続していきます。

(19) 学生生活

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、 やや不適切...2、不適切...1
学校独自の奨学金はあるか	4
学費の減免や分割制度を整備しているか	4
経済的支援制度利用についての情報提供を行っているか	4
学校保健計画を定め、学校医を選任しているか	4
定期健康診断を実施し、記録を保存しているか	4
心身の健康相談に関する専門職員を配置しているか	4
学生寮を整備しているか	4

(現状)

- 入学時、進級時の独自奨学金及び学費の延納・分納制度があり、学生に合わせた支援を行っています。
- 毎年4月に健康診断を実施しており、疾病や怪我に備え学校医を定めています。
- 遠方からの学生のために民間の学生寮と提携しています。

(今後の方針)

- 本項目については、適正に行われていると判断し、今後も現状どおり継続していきます。

(20) 保護者との連携

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、 やや不適切...2、不適切...1
保護者会開催等教育活動の情報提供を適切に行っているか	3
学力や心理面の問題等を保護者と連携しているか	4
緊急時の連絡体制を確保しているか	4

(現状)

- 学校行事等の情報提供を当校 HP と、ポータルサイトを中心に行っております。
- 成績、出席状況を定期的に通知し、問題のある場合は、担任から保護者へ連絡を取り面談を行っております。
- 緊急時には一斉メールを活用し、適切に対応しています。

(今後の方針)

○ 本項目については、適正に行われていると判断し、今後も現状どおり継続して参ります。

(21)卒業生・社会人

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、 やや不適切...2、不適切...1
同窓会を組織しているか	4
卒業後のキャリアアップや研究活動の支援体制はあるか	3

(現状)

○ 同窓会により年1回機関誌が発刊され、在校生と卒業生との繋がりが築かれています。卒業後の再就職の相談にも応じております。

(今後の方針)

○ 本項目については、適正に行われていると判断し、今後も現状どおり継続して参ります。

(22)施設・設備等

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、 やや不適切...2、不適切...1
施設・設備は関係法令に適合しているか	4
図書室等の学習支援施設や休憩スペースを確保しているか	4
衛生管理、日常点検、定期点検などを適切に行っているか	4
施設・設備のバリアフリー化に取り組んでいるか	2
設備更新計画を策定しているか	4

(現状)

- 施設・設備は各種法令に適合しており、行政等に届け出を行っております。
- 設備管理会社により、衛生管理、日常点検、定期点検が行われています。
- エレベータを車椅子仕様とするなどバリアフリー化に取り組んでいます。

(今後の方針)

○ 本項目については、適正に行われていると判断し、今後も現状どおり継続して参ります。

(23)学外実習・インターンシップ等

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、 やや不適切...2、不適切...1
学外実習・インターンシップの意義を明確化し適切に取り組んでいるか	4
学外実習・インターンシップの教育効果を確認しているか	4
学校行事の運営に学生を参加させているか	4

(現状)

○ 学外実習やインターンシップに積極的に取り組んでおりますが、授業との関連から学外実習・インターンシップが実施できない学科があります。実施の難しい学科に関しては、インターンシップと同等のカリキュラムを展開しております。

(今後の方針)

○ 学生のインターンシップの状況に応じて、カリキュラムとして組み込み評価制度を明確にする方向性などを検討して参ります。

(24)防災・安全管理

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、 やや不適切...2、不適切...1
防災・消防の計画・マニュアルを整備しているか	4
施設・設備は耐震化しているか	4
防災訓練を定期的実施しているか	4
防犯体制を整備しているか	4
学内での事故対応マニュアルを整備しているか	3
薬品等の危険物を定期的点検しているか	4

(現状)

○ 防災・消防計画・マニュアルは整備され、関係各所に届け出しています。耐震診断の結果も問題ありません。

○ 防災訓練等は毎年5月に実施しており、事故等の対応マニュアルも整備しています。

(今後の方針)

○ 本項目については、適正に行われていると判断し、今後も現状どおり継続していきます。

(25) 学生の募集と受け入れ－学生募集活動

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、 やや不適切...2、不適切...1
高等学校等に教育活動の情報提供を行っているか	4
専修学校団体の自主規制に即した募集活動を行っているか	4
入学志願者からの相談に適切に応じているか	4
体験入学等の多くの参加機会の提供や実施内容を工夫しているか	4

(現状)

- 高校訪問を行い、学校の教育活動の情報を提供しています。
- 専修学校団体の規制に即した募集活動を行っております。
- 体験入学、学校説明会、授業見学を随時行い学校の情報提供に努めています。

(今後の方針)

- 本項目については、適正に行われていると判断し、今後も現状どおり継続していきます。

(26) 入学選考

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、 やや不適切...2、不適切...1
入学選考基準は規程等で明確に定めているか	4
入学選考の公平性を確保するための体制を整備しているか	4
学科毎の応募者数、入学者数の予測数値を算出しているか	4

(現状)

- 募集要項、判定会議により公平・公正に選考を行っています。

(今後の方針)

- 本項目については、適正に行われていると判断し、今後も現状どおり継続していきます。

(27)学納金

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、 やや不適切...2、不適切...1
学納金決定の過程を明確にしているか	4
学納金等徴収する金額はすべて明示しているか	4
入学辞退者に対する文部科学省通知に基づく学納金 他返還について明示し適切に運用しているか	4

(現状)

○ 学生募集要項に学納金徴収に関する金額等は明示しています。また、入学辞退者に対する学納金返還も明示し、対応しています。

(今後の方針)

○ 本項目については、適正に行われていると判断し、今後も現状どおり継続していきます。

(28)財務－財務基盤

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、 やや不適切...2、不適切...1
収支のバランスはとれているか	4
設備投資が過大になっていないか	4
負債は返還可能な範囲で妥当な数値か	4
最近3年間の収支状況を分析しているか	4

(現状と今後の方針)

○ 本項目については、適正に行われていると判断し、今後も現状どおり継続して参ります。

(29)予算・収支計画

評価項目	適切...4、 ほぼ適切...3、 やや不適切...2、 不適切...1
予算の編成を明確にしているか	4
予算編成は教育目標、業務計画と整合性はあるか	4
予算と決算に大きな乖離はないか	4
経理規程を整備し適切な会計処理を行っているか	4

(現状と今後の方針)

○ 本項目については、適正に行われていると判断し、今後も現状どおり継続していきます。

(30) 監査

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、 やや不適切...2、不適切...1
私立学校法に基づき適切に監査を行っているか	4
監事による監査に加え、監査法人等による外部監査を実施しているか	4

(現状と今後の方針)

○ 本項目については、適正に行われていると判断し、今後も現状どおり継続していきます。

(31) 財務情報の公開

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、 やや不適切...2、不適切...1
財務公開規程を整備し適切に運用しているか	4
法令により義務付けられている財務諸表、事業報告書等を作成し閲覧に供しているか	4

(現状と今後の方針)

○ 本項目については、適正に行われていると判断し、今後も現状どおり継続していきます。

(32) 関係法令、設置基準等の遵守

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、 やや不適切...2、不適切...1
関係法令、設置基準を遵守し、諸届を適切に行っているか	4
セクシュアルハラスメント等の防止の方針を明確化しているか	4

(現状と今後の方針)

○ 本項目については、適正に行われていると判断し、今後も現状どおり継続していきます。

(33)個人情報保護

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、 やや不適切...2、不適切...1
個人情報保護に関する方針を定め適切に運用しているか	4
個人データ取り扱いを定め適切に運用しているか	4

(現状と今後の方針)

- 本項目については、適正に行われていると判断し、今後も現状どおり継続していきます。

(34)学校評価

評価項目	適切...4、 ほぼ適切...3、 やや不適切...2、 不適切...1
学校自己評価を行い、結果を公表しているか	4
評価結果に基づく改善に取り組んでいるか	4
学校関係者評価について関連業界等から委員を適切に選任して実施し結果を公表しているか	4

(現状)

- 学校ホームページに情報公開をしています。

(今後の方針)

- 本項目については、適正に行われていると判断し、今後も現状どおり継続していきます。

(35)教育情報の公開

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、 やや不適切...2、不適切...1
教育内容、教職員等の教育情報を学生、保護者、関連業界等に積極的に公開しているか	4

(現状)

- 学校案内書、学生募集要項、シラバス、ホームページにて公開しています。

(今後の方針)

- 本項目については、適正に行われていると判断し、今後も現状どおり継続していきます。

(36) 社会貢献・地域貢献・国際交流

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、 やや不適切...2、不適切...1
産学連携に関する方針・規程を整備しているか	4
企業等と連携しての教育プログラム共同研究等の実績はあるか	3
学校の施設・設備を関連業界や卒業生に開放しているか	3
環境問題等社会問題に対する問題意識を醸成する教育に取り組んでいるか	4
海外の教育機関との交流を行っているか	3

(現状)

- 職業実践専門課程における取り組みとして、産学連携に関する方針・規定の整備を進めております。学科により連携する企業の差がでてきておりますが、引き続き、企業連携を強化させていく予定です。
- SDGs など授業内容に取り入れる工夫をしております。

(今後の方針)

- 職業教育の強化目標をメインとして、職業実践専門課程の取得を目指し、様々な取り組み活性化して参ります。

(37) ボランティア活動

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、 やや不適切...2、不適切...1
ボランティア活動等を積極的に推奨しているか	3
ボランティア活動の実績を把握し、評価しているか	4

(現状)

- ボランティア参加の案内を掲示して学生へ周知しています。
- ボランティア活動の実績を奨学金の申請要件として積極的に推奨しています。

(今後の方針)

- ボランティア活動への参加を推奨し、実績を把握し評価していきます。